



もてなしの心でお出迎え 餅振る舞い

平泉町振る舞い餅つき実行委員会による「餅振る舞い」が1月1日、JR平泉駅前で行われました。

おもてなしの心で初詣客を迎え、昨年の世界遺産登録実現への感謝と新たな年のスタートを祝い、あんこやきなこで味付けしたつきたての餅と温かい甘酒が振る舞われました。

また山王太鼓の太鼓演奏も披露され、駅に降り立った初詣客の目を楽させていました。

地域防災を考える ひらいずみ女性の集い

第5回ひらいずみ女性の集い（平泉女性の会主催）が1月7日、文化遺産センターで開かれました。集いでは、一関西消防署平泉分署長の高橋茂さんが「安心・安全な暮らしのために わたしたちにできること」と題して講演。地域コミュニケーションの大切さなどを訴えました。

引き続き行われたパネルディスカッションでは、町内自主防災組織の代表者ら4人が男性、女性それぞれの視点に立った防災組織の在り方について意見を交わしました。



多幸祈り一気に飲み干す 中尊寺金盃披露

中尊寺の新春恒例行事「金盃披露」が1月8日、同寺大書院で行われました。

金盃披露は、一山の僧侶が元日から行ってきた修正会の満願を祝う行事。

町内外から招待者約140人が出席。鏡開きが続いて、僧侶が大（630ミリ）、中（450ミリ）、小（360ミリ）の金盃になみなみと注いだ酒を参加者は一気に飲み干し、今年一年の健康や幸福と東日本大震災からの復興を祈りました。

町政発展を誓い合う 町新年交賀会

町、町議会、JAいわて南、商工会が主催する「平泉町新年交賀会」が平泉レストセンターで開かれました。

会には来賓や各団体の代表者、区長や町民ら約300人が出席。参加者は新年のあいさつを交わしながら1年の多幸を願うと共に、町政発展を誓い合いました。

また平泉喜桜会による祝謡や山王太鼓による演奏、平泉響泉会の力強い木遣りで新年の門出を祝いました。



五穀豊じょうなどを祈願 毛越寺二十日夜

1月20日、毛越寺常行堂の二十日夜祭が行われ、厄災消除、無病息災、五穀豊じょうなどが祈願されました。二十日夜祭は、一山の僧侶たちが常行堂で続けてきた祈とうが満願するのを祈って行われているもの。今年も厄男など約300人が参加しました。

町内外5カ所の奉納宿から集結した参加者たちは、駅から常行堂までの道のりを献ぜん行列、鬼子、火たきのぼりで練り歩きました。常行堂では、厄男たちによる「蘇民袋」の争奪戦などが行われ、境内は熱気に包まれていました。



事故のない町目指し 交通指導隊初点検

町交通指導隊（丸山訓隊長）の平成24年初点検が1月4日、役場玄関前で行われました。

初点検には隊員9人が参加。丸山隊長が「世界遺産の町として、住民と観光客の交通安全に努め、安全安心のまちづくりを目指し職務に務めるとともに、特に死亡事故ゼロ継続に向けた取り組みを隊員とともに引き続き推進していきます」と力強くあいさつ。隊員全員で事故のない町を目指し決意を新たにしました。